

事業申請書

事業名	既設構造物を活用した修繕技術によるインフラ老朽化対策
必要性	深刻化するインフラ老朽化への対策として、道路の側溝・柵等の既設構造物を取り壊すことなく可能な限り残存させる工法や技術を修繕工事に用いて従来よりも効率化することが、持続可能なインフラメンテナンスを実現するために必要である。
効果	既設構造物を活用した維持修繕工事によって以下のような効果が得られる。 <ul style="list-style-type: none">・破損、騒音、蓋の盗難、跳ね上がりなどの不具合を早期に改善し安全と安定を確保することができる。・工事スペースと工事期間の縮小により密集市街地での修繕対応が迅速にできる。・取り壊しによる建設廃材を削減できるため SDGs の推進になる。・構造物を再築、復元するための型枠組みが不要なため技術熟練者の人手不足の建設業者でも請け負うことができる。・効率化、省力化により建設業の働き方改革が加速する中でも施工品質を維持できる。
内容	施工住所： □□□□□□ 現 状 況： □□□□□□ 用 途： □□□□□□ 工 期： □□□□□□ 仕 様 等： □□□□□□ 施工歩掛： □□□□□□